

福間郷づくり福間浦盆踊りをご存知ですか～

南町・緑町で行われている「福間浦盆踊り」は、三味線や太鼓に長唄のお囃子に合わせ踊る盆踊りの一つです。由来は芦屋歌舞伎と関連付ける記録があり、江戸時代に遡ります。終戦後に一時中断されましたが、昭和35年ごろに復活し地域の伝統行事として現在に至っています。

毎年、南町と緑町それぞれの地域の中で、保存会メンバーを中心に受け継がれてきました。両地域とも6月から練習開始し、新しい世代に伝統が受け継がれています。毎週土曜日、公民館での練習では、80代の元気パワーと地域の子供たちが一緒になって、地域の大切な伝統が守られています。残念ながらコロナの影響で両地域とも中止となりましたが、8月6日の最後の練習まで楽しんで参加していました。

私事ですが、南町保存会代表と太鼓方の二刀流として、来年は開催できる事を願うばかりです。



廣渡SC



津屋崎郷づくり福祉部会で送迎支援がはじまりました

津屋崎郷づくり推進協議会福祉部会では、毎月第1火曜日に「歌いましょう」、第3火曜日に「オレンジカフェ」を行っています。今年度から市の要請により「津屋崎千軒なごみ」から「津屋崎行政センター」に会場が変わったため、会場まで遠くなった方への送迎支援を行うと同時に、新たな参加の輪を広げたいと、福祉部会で話し合いを行いました。

「堅川区おやじの会の協力を得て、送迎を開始することになりました。初回の8月16日は3名の送迎を行いました。

これから、より参加の輪が広がるように送迎支援を続けていきます。



芹野SC



オレンジカフェの様子

生活支援コーディネーター(SC)は、地域の「あること(社会資源)」と「あったらいいな(地域ニーズ)」を見つけ、つなぎ合わせたり、足りないものを新たに創るための支援を行い、地域における支え合いの体制づくりを進めていく役割を担っています。